

授業科目	言語聴覚障害学概論				
担当者	森田婦美子・片岡紳一郎・ST 教員				(オムニバス)
専攻(科)	言語聴覚専攻科	学 年	1 年	総単位数	1 単位
		開講時期	前期	選択・必修	必修

■ 内 容

- ・ 神経系や発声発語器官、頭頸部解剖及び人体のしくみについての導入
- ・ 言語聴覚療法の各領域の臨床について現任者が講義を行う
- ・ I 期実習ガイダンス

■ 到達目標

- ・ 神経系や発声発語器官、頭頸部及び人体のしくみについての概要を理解する
- ・ 様々な臨床現場における言語聴覚療法の臨床を知る
- ・ 実習に先立ち、言語聴覚士として必要な各領域の知識や技術の基礎的事項を身につける

■ 授業計画

- 第1回 神経系や発声発語器官、頭頸部解剖 (大根)
- 第2回 人体機能の仕組み：心臓 (森田)
- 第3回 人体機能の仕組み：腎臓 (森田)
- 第4回 人体機能の仕組み：肝臓 (森田)
- 第5回 人体機能の仕組み：膵臓 (森田)
- 第6回 言語聴覚士の現場の声をきく - 臨床の実際を知る (1)
- 第7回 言語聴覚士の現場の声をきく - 臨床の実際を知る (2)
- 第8回 言語聴覚士の現場の声をきく会から学んだこと 発表
- 第9回 I 期実習ガイダンス トランスファーと車椅子操作 講義及び演習 (1) (片岡)
- 第10回 I 期実習ガイダンス トランスファーと車椅子操作 講義及び演習 (2) (片岡)
- 第11回 I 期実習ガイダンス トランスファーと車椅子操作 講義及び演習 (3) (片岡)
- 第12回 I 期実習ガイダンス バイタルサインのみかた (1) (森田)
- 第13回 I 期実習ガイダンス バイタルサインのみかた (2) (森田)
- 第14回 I 期実習ガイダンス 感染症について (森田)
- 第15回 I 期実習ガイダンス 感染症における注意点 (森田)

■ 評価方法

小テスト100%

■ 授業時間外の学習 (予習・復習等) について

グループでの課題を課す。積極的に参加すること。

■ 教科書

書 名：図解 言語聴覚療法技術ガイド
 著者名：深浦順一 編集主幹
 出版社：文光堂

書 名：言語聴覚士テキスト
 出版社：医歯薬出版

■ 参考図書

■ 留意事項

小テストを含む試験時に不正な行為があったと認められた者については、規定に定める第16条を適用し、当期科目の全ての試験を無効にする。

新型コロナウイルス感染症対策や不測の事態（災害等）が発生した際、遠隔授業による授業運営に変更する可能性がある。また、新型コロナウイルス感染症の感染状況や入構禁止等の措置を講じた場合は、評価方法を変更することがあり、評価方法を変更する場合には、講義支援システム（Moodle）を通じて周知する。

■ 講義受講にあたって

臨床実習 I シラバスも参照すること。

ST 専任教員による補習数コマあり。